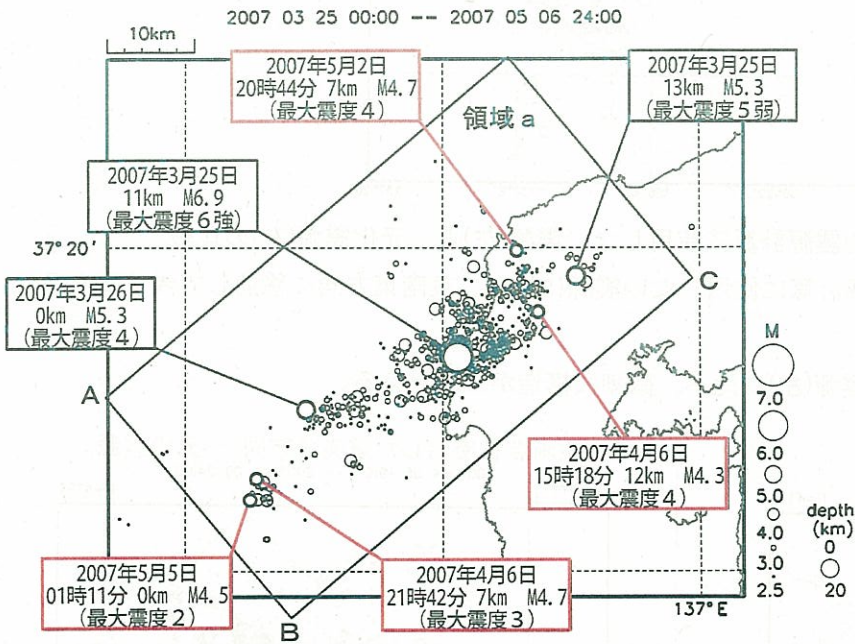


# 平成 19 年（2007 年）能登半島地震の余震活動

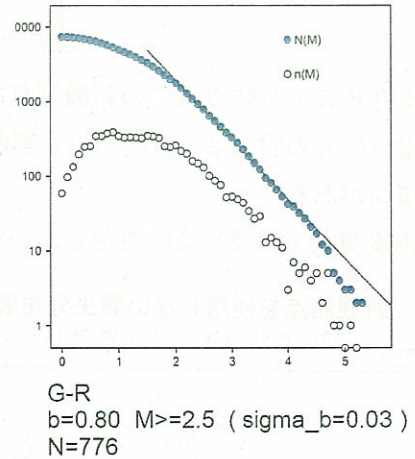
平成 19 年（2007 年）能登半島地震（M6.9）の余震活動は次第に減衰している。

4 月以降、余震域がやや南西側に広がり、6 日 21 時 42 分に4月中の最大の余震となる M4.7（最大震度 3）の地震が余震域の南西端付近で発生した。同日 15 時 18 分には余震域北東側の陸域でも M4.3（最大震度 4）の地震が発生している。5 月以降も 2 日に M4.7（最大震度 4）、5 日に M4.5（最大震度 2）の地震がそれぞれ余震域の北東側、南西側で発生しているが、余震活動に特段の変化は見られず、活動は総じて減衰している。

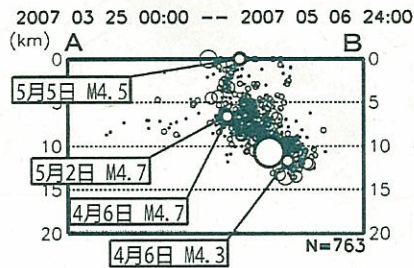
震央分布図（2007 年 3 月 25 日以降、 $M \geq 2.5$ ）



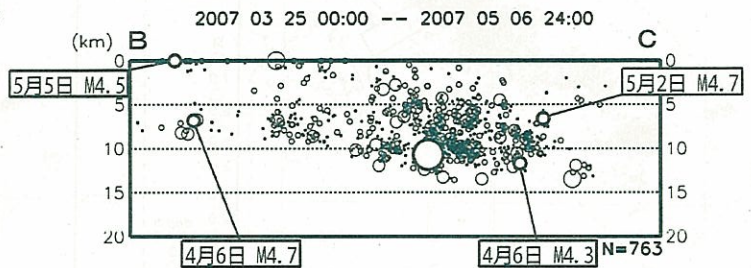
余震の M 度数分布と b 値



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 a 内の断面図 (B-C 投影)



領域 a 内の時空間分布図 (B-C 投影)

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図

